

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-1-1 県内企業の経営・技術革新の支援
---------	-------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長 馬庭 正人	電話番号	0852-22-5291
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	石州瓦産業経営基盤強化支援事業			
目的	(1) 対象	県西部（浜田市、大田市、江津市）に所在する石州瓦製造企業と、その企業により組織されている石州瓦工業組合		
	(2) 意図	石州瓦産業の自立的発展に向けて、各企業の経営基盤を強化する		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石州瓦産業は、県西部において経済・雇用情勢に大きな影響を与える重要な地場産業</li> <li>・「石州瓦産業の自立的発展に向けたアクションプラン」に沿って、石州瓦製造企業に対する販売・生産・組織・開発等の課題解決に向けた支援、住宅新築時に石州瓦を屋根材として使用する施主に対する助成、県や産業技術Cによる同アクションプランの進捗管理やフォローアップを実施</li> </ul>			

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	出荷枚数/年度	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	55,089	65,940	47,325	
式・定義	石州瓦工業組合参画企業の出荷枚数合計		実績値	0.00	55,089	65,940	47,325		
			達成率		0.00	98.30	69.40		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
									達成率

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	48,775	56,500
うち一般財源 (千円)	48,775	56,500

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・出荷枚数（H26年度）  
目標：68,212千枚 → 実績：47,325千枚（目標達成率：69.4%、対前年度比：71.8%）
- ・瓦以外の売上高（H26年度）  
目標：35,679千円 → 実績：38,592千円（目標達成率：108.2%、対前年度比：103.0%）

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・島根県内で実施している石州瓦利用促進事業等もあり、県内への出荷枚数の目標達成率は75.2%と厳しい状況ながらも、全体の目標達成率69.4%を上回った。  
・近年の住宅スタイルへの石州瓦採用を促進するため、歩止まり向上やコスト削減に向けた生産技術習得等の支援を実施した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

出荷枚数が最盛期の平成6年から1/4程度にまで減少

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・新築住宅着工件数の伸び悩み
- ・他産地との競争
- ・軽量金属屋根材など他屋根材の攻勢

### ③原因を解消するための「課題」

- ・石州瓦産業の技術力や設備（高温焼成、廃熱等）を活用した新技術開発や新分野進出
- ・平板瓦の生産技術の向上
- ・石州瓦の強みである耐凍害、耐塩害のPR
- ・陶器屋根材の他屋根材に対する優位性の立証・PR

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・平板瓦の生産技術の確立に向けた全面的支援を行う。
- ・石州瓦の既存市場である西日本市場の維持を前提として、販売戦略、生産、研究開発等の課題解決に向けた総合的支援を行う。
- ・石州瓦産地の地元における新築住宅での石州瓦採用の拡大のため、利用促進に向けた支援を行う。
- ・中長期的には陶器屋根材市場は成熟・衰退傾向にあるため、既存の技術や設備を活用した新技術開発や新分野進出に向けた支援を行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）